

# ひきじだい

12月(師走)号

令和7(2025)年11月28日



大和市立

引地台小学校

HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL

## 「学びの積み重ね」

令和7年度の全国学力・学習調査の本校における結果(概要)についてお知らせします。

「学力調査」と「質問紙調査」の特徴的な内容をまとめました。

○概ね良好な内容 ▼課題と思われる内容 ☆今後の指導や方向性

### 【国語】

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる
- ▼文中における主語と述語との関係をとらえることができる
- ▼資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる
- ☆文章中の言語の扱い(意味理解・文法など)の学力の向上
- ☆積極的に話すこと・話し合いの活動、分かりやすく伝えるための表現方法やその工夫を体得していく活動の充実

### 【算数】

- 数量の関係を、□を用いた式に表すことができる
- 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる
- ▼速さの意味について理解している
- ▼球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる
- ☆速さのように、数値を可視化することが難しい問題では、算数用語の定義を定着させると共に、速さの違いを体験する活動を取り入れるなど、言葉と体験を結びつけながら習熟を図る。
- ☆「短答式」「記述式」の問題になると、無回答率が高くなる。問題文を読んで、何を問われているのかが分からず回答を諦めてしまっている可能性がある。文章中のキーワードをチェックし、数値の情報をノートに書き出して解決の道筋を探るなどの方法を身に付けていく。

### 【理科】

- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身につけている
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技術が身につけている
- ▼身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを知識が身につけている
- ▼ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身につけている
- ☆「身の回りの金属について…」の問題では、アルミ・鉄・銅の3種類の性質に関する誤答である。見た目が似ている製品でも、学校で学んだ理科学的な視点から日常生活を見つめることで、さらに学力の定着にもつなげていきたい。
- ☆全体的に見ると、環境問題・SDGs等に関わる応用問題にも対応できていることから、授業の枠を超えて興味関心が広がり、思考力の向上につながったと考えられる。

### 【質問紙】

「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「友達関係に満足している」の項目でプラスの回答が多かったことは、子どもたちが人とかかわりの中で自分や周りの人たちを大切に思う心情が育っていることを示していると思います。

一方、学習習慣について、家庭学習・読書時間の時間が短い様子が見られ、学校で学習した内容を定着、深化させる取り組みの必要性を感じます。

学力・学習調査の結果を学校全体で共有し、引地台小としての成果と課題を、今の教育活動に活かしていくことを確認しました。1年生から6年生までの学習の積み重ねの大切さを意識し、実践してまいります。